

MORE'S

株式会社 **横浜岡田屋**

MORE'S は、

いつも「もっと」を心がけています。

“MORE MORE MORE”

「より豊かに、より楽しく、よりさわやかに」。

これがMORE'Sのテーマです。

私たちはこのテーマのもと、街のスペースプロデューサーとして、立地を生かし、地域のお客様のニーズに応えるソリューションを編集し、価値あるスペースを創造しています。

街なかにおけるショッピングセンターの開発・運営は、MORE'Sが最も得意とするところです。

MORE'Sは、それぞれの街が持つ魅力を大切に、その街に集い暮らす人たちの期待やショッピングセンターにご出店くださるテナント様の思いを編集し、その街にふさわしい新しい価値を創りあげます。

「もっと」を、もっと。

この気持ちをいつも忘れず、MORE'Sはこれからもチャレンジし続けます。

MORE'S

「もっと」の遺伝子は、
岡田屋創業時から受け継がれています。

Established in 1890

MORE'Sの歴史をさかのぼると、1890年（明治23年）に川崎で質店として産声を上げた岡田屋にたどり着きます。

岡田屋は後に呉服店として長い歴史を刻み、その後百貨店として時代の波に乗り、戦後日本の経済復興とともに発展。

ハワイをはじめ海外へも多数出店し、たくさんの方の事を学びました。

のちに岡田屋は時代のニーズに合わせて都市型ショッピングセンターMORE'Sの開発・運営を手がけて、今日に至っています。

MORE'Sの名の由来でもある「もっと」の精神は、この岡田屋がルーツです。

120年にわたる岡田屋の歴史は、地域のお客様のご要望や時代の変化に合わせて、さまざまな「もっと」をひたすら追い求めた歴史なのです。

MORE'Sは、これからも生活者感覚を大切に、もっと食欲にその実践に努めます。

※株式会社岡田屋と株式会社横浜岡田屋は、2007年に合併。
株式会社横浜岡田屋として組織統合し、新しい一歩を踏み出しました。



創業当時の屋号



現在も使用の社章

MORE'S

モアーズは、
もっと価値あるものを創り出します。

More Value

MORE'Sは、柔軟性に富む経営戦略と継続性を重視した現場オペレーションを駆使して、厳しい競争に勝ち抜き、ビジネスパートナーと“Win-Win”の関係が築けるよう、真摯に努めています。

日々マーケットの声に耳を傾け、顧客接点の現場を見つめるという地道な努力を忘れず、時代のニーズにしなやかに対応するとともに、次なるビジネスチャンスをすばやく的確にキャッチ。

過去にとらわれず、常に自然体で「いま求められているモノやサービス」を価値ある状態で提供いたします。

また、MORE'Sでは運営ポリシーとして“Please Come Again (またどうぞお越しくださいませ)”を掲げて、ご来店者の皆様と共有しています。

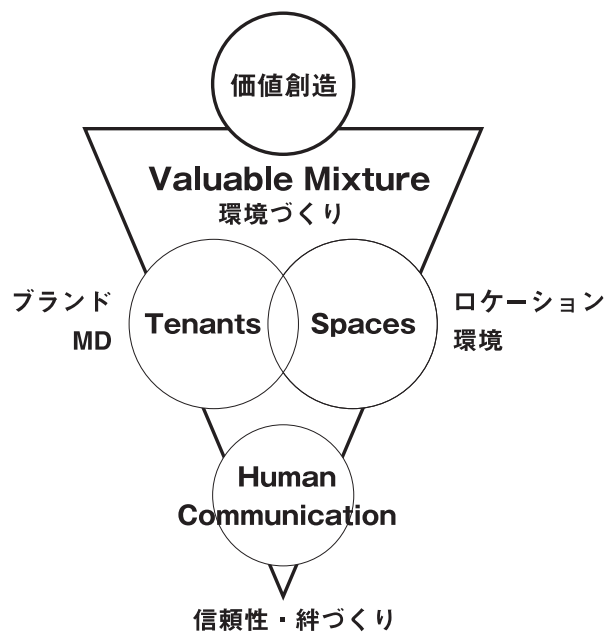
モアーズのポリシー

“Please Come Again”

清潔な売場がお客様を呼び
あなたの笑顔がお客様の心を開き
あなたが一生懸命働く姿がお客様の感動を呼び
うそのないサービスが明日の売上げを創ります
ただひたすらまたご来店いただくために…
さあ 心をこめて
「またどうぞお越しくださいませ！」

MORE'S

Coordinate & Produce



YOKOHAMA OKADAYA

「もっと」を提供します。
モアーズは、それぞれのマーケットに

For More Markets

MORE'Sでは、立地や地域特性に合わせて店ごとに異なるコンセプトを掲げ、特色のあるショッピングセンター開発とその運営管理を行っています。

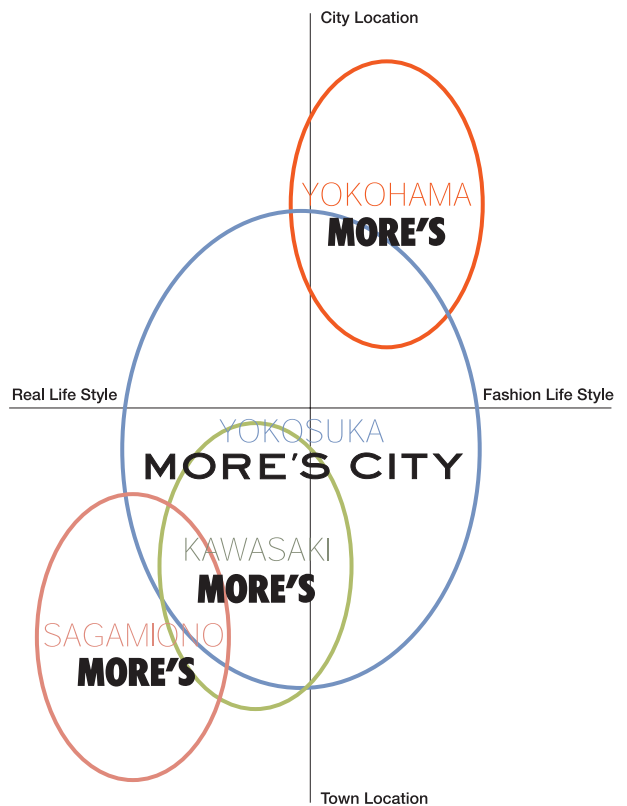
神奈川県を表玄関「横浜」、活気あふれる「川崎」、海の手「横須賀」、そして東京都に隣接するベッドタウン「相模大野」。

これらの街でMORE'Sは、ご出店者様とマーケットがコミュニケーションできるように、長年にわたって小売業で得た貴重な経験をフルに生かして、プロパティマネージメントを行っています。

MORE'Sのプロパティマネージメントの特徴は、それぞれのマーケットにふさわしいベストソリューションをトータルに提供できることです。

ショッピングセンター企画・マーケティングから、建築コンサルティング、テナントリーシング、運営・マネージメント、さらには販促用品の手配やイベント企画設営などの関連商事業まで。

効果的なプロパティマネージメントの“A to Z”をワンストップで提供し、マーケットとご出店者様の「もっと」にしっかりお応えいたします。



●**ショッピングセンター企画・マーケティング**

立地や商圈を分析し、ターゲットを設定。出店地における店のポジショニングを明確にし、競争に勝ち抜くプランニングを行います。

●**ショッピングセンター建築コンサルティング**

ゾーニングや導線計画などを行い、快適な商環境づくりのご提案をいたします。

●**テナントリーシング**

テナント説明会の開催から出店契約の締結まで、明快でスムーズなリーシングを行います。

●**ショッピングセンター運営・マネージメント**

販促プロモーションの企画・実行をはじめ、各種データの分析、研修会の開催、顧客管理など、トータルにサポートします。

●**ショッピングセンター関連商事業**

各種記念品やノベルティ、販促用品の手配から、イベント企画設営など、細やかな気配りでご要望にお応えします。

MORE'S

YOKOHAMA

MORE'S

MORE'S 横浜

横浜駅西口にMORE'S第2号店として、
1982年11月12日にオープンした都市型ショッピングセンター。
「やさしい大人のカップル」をコンセプトに2008年10月に全面リニューアル。
幻想的なイメージの外壁やゆとりある空間をはじめ
“ちょっと特別なヨコハマのお店”に生まれ変わりました。



MORE'S

YOKOHAMA

建物規模	地下3階～地上9階、塔屋3階
延床面積	27,200 m ²
店舗面積	17,700 m ²
店舗数	60店
付帯設備	エスカレーター 20基 エレベーター（客用）5基 エレベーター（人荷用）2基 カーリフト 1基
駐車場	屋上 30台

KAWASAKI

MORE'S

MORE'S 川崎

JR川崎駅の向かいに、駅前バスターミナルを挟んで立つ商業ビル。

MORE'S第1号店として、1980年5月15日に開業しました。

「賑わいのある立体商店街 エンジョイビル」のコンセプトのもと、

川崎に深い愛情を持つ家族を対象に運営。

年齢性別は問わず、あらゆる人をターゲットとしています。



MORE'S

建物規模	地下2階～地上8階、塔屋2階
延床面積	18,800 m ²
店舗面積	10,700 m ²
店舗数	51店
付帯設備	エスカレーター 20基
	エレベーター（客用）2基
	エレベーター（人荷用）2基
	ブチカレーター（ギネス認定、世界最小）1基
駐車場	タワーパーキング 30台

YOKOSUKA

MORE'S CITY

MORE'S CITY

最も新しいMORE'Sとして、京浜急行横須賀中央駅前に
1997年10月1日に開業。

総店舗面積約32,500m²、店舗数約160店は、MORE'S最大。
三浦半島全域のヤングマインドを持った人々をターゲットに、
「海の手ライフスタイル」を提案する
駅直結のターミナル型ショッピングセンターです



MORE'S CITY

横須賀中央駅西口

建物規模	地下1階～地上9階
延床面積	45,500 m ²
店舗面積	32,500 m ²
店舗数	160店
付帯設備	エスカレーター 19基 エレベーター (客用) 7基 エレベーター (人荷用) 5基
駐車場	自走式 300台

SAGAMIONO

MORE'S

MORE'S 相模大野

小田急相模大野駅前に1992年9月24日、
MORE'S 第3号店としてオープン。

「エンジョイ ライフ 生活活性館」をコンセプトに、
ライフソリューションのサポートをする
時間消費型ショッピングセンターです。
館内はショッピング、アミューズメント、
飲食の3ゾーンに分かれています。



MORE'S

建物規模	地下1階～地上7階
延床面積	10,400 m ²
店舗面積	6,500 m ²
店舗数	25店
付帯設備	エスカレーター 12基 エレベーター(客用) 2基 エレベーター(人荷用) 2基
駐車場	タワーパーキング 64台

Renovation

プロパティマネジメント事業

○ ショッピングセンター企画・マーケティング

立地や商圏を分析し、ターゲットを設定。出店地における店のポジショニングを明確にし、競合に勝ち抜くプランニングを行います。

○ ショッピングセンター建築コンサルティング

ゾーニングや導線計画などを行い、快適で高効率の商環境づくりのご提案をいたします。

○ テナントリーシング

テナント説明会の開催から出店契約の締結まで、明快でスムーズなリーシングを行います。

○ ショッピングセンター運営・マネジメント

販促プロモーションの企画・実行をはじめ、各種データの分析、研修会の開催、顧客管理など、トータルにサポートします。

○ ショッピングセンター関連商事事業

各種記念品やノベルティ、販促用品の手配から、イベント企画設営など、細やかな気配りでご要望にお応えします。

ショッピングセンターMORE'Sを展開する横浜岡田屋には、中心繁華街において規模に制約があるビルでの運営実績があります。建物やロケーション、規模、競合状況、客層などをトータルに考えた総合的ベストソリューションのご提案は、まさに横浜岡田屋の身上です。

そのショッピングセンターにふさわしいプロパティマネジメントとは何か。どのようにすればご出店者様にスポットライトがあたるか。常にこのことを考えて、販促企画や顧客管理、店舗デザイン、各種セールスプロモーションなどを行っています。

Communication

ビルメンテナンス事業

○ 清掃業務

気持ちよくショッピングをお楽しみいただくための
クリーンサービスを承ります。
●建物内外の一般清掃や外壁洗浄 ●ハウスクリーニングなど

○ 設備管理業務

快適で安心できる環境の整備をお手伝いいたします。
●空調設備機器の保守管理◆消防設備点検保守
●各種法令定期検査◆防災設備工事など

○ 内外装および設備工事

各種工事やリフォームを承ります。
●商業設備および店舗の改修・内装工事 ●建築物外壁工事・サイン工事
●店舗・オフィスビル・マンションの現状回復工事
●電気設備・空調冷暖房設備機器工事 ●給排水設備工事
●住宅のリフォームなど

○ 環境衛生管理

浮遊粉塵や化学物質の濃度測定、水槽の清掃など、
衛生的な環境整備をサポートいたします。
●空気環境測定 ●受水槽・汚水槽・雑排水などの清掃・消毒
●害虫駆除・消毒 ●給排水設備点検整備、●水質検査など

ショッピングセンター運営において、快適な環境の提供は、CS（顧客満足）の視点からもES（従業員満足）の視点からも欠かせないものです。

横浜岡田屋では、ショッピングセンターにご出店の皆様に対するサービスの一環としてビルメンテナンス事業を展開しています。それゆえ、ショッピングセンターで働くテナント社員の施設の充実も、重要な要素と考え、後方施設の整備・改善にも努めています。また、大切な資産である建物をビル・オーナーと同じ目線で捉え、オーナーとのコミュニケーションは密に図り、愛情を持ってメンテナンスすることも、横浜岡田屋のビル管理事業の特色です。

Relation

外商事業

- 官公庁に対する商品の販売
- 企業、学校等に対する商品の販売
- 商品、サービスの代理店事業

通販事業

(JADMA〈日本通信販売協会〉会員)

- 防災通販専門サイト
- 非常食、保存水
- 日田天領水

横浜岡田屋では外商事業として、官公庁をはじめ企業や学校などのお客様に対して、記念品、ノベルティ、オリジナル商品、さらには制服、家電製品、防災品に至る広範囲な商品の販売を行っています。

また通信販売事業として専門ウェブサイトを開設。防災用品の販売や大分県日田市の深層水「日田天領水」を鮮度の高い状態でお届けする事業を展開しております。

「もっと、前向き」

横浜、川崎、横須賀、相模大野において、ショッピングセンターMORE'Sを運営する私ども横浜岡田屋は、明治、大正、昭和、平成にわたって、時流にマッチしたビジネスを展開してまいりましたが、その根底には私たちが「前向き宣言」と呼んでいるひとつの理念があります。

「私たちは今日も一日、お客様の喜びを、私たちの喜びとして、企業の発展と、自らの成長のため、前向きに行動し、目標に挑戦します。」という一文でまとめあげられたこの「前向き宣言」は、全社員が行動の拠りどころとしているものです。

現在横浜岡田屋の主力事業として育ったプロパティマネジメント事業においても、この「前向き宣言」の考え方が実践されています。

マーケットでは、不安定な景況によるニーズの激変という荒波にさらされながらも、再度郊外から中心部にシフトする動きが出ております。

今後その動きはさらに加速することでしょう。このような時代の流れに即して、横浜岡田屋は長年にわたって蓄積したノウハウを生かし、革新的なマネジメントにさらに磨きをかけて、「もっと、前向き」に、時代の要請に応えてまいります。



株式会社 **横浜岡田屋**
代表取締役社長

岡田 伸浩

「前向き宣言」

私たちは今日も一日

お客様の喜びを私たちの喜びとして

企業の発展と自らの成長のため

前向きに行動し目標に挑戦します。

復興した岡田屋呉服店



岡田屋呉服店2階建て店舗を増築



3階建てに改築



鉄筋5階建て本格百貨店を開業



横浜岡田屋オープン



ハワイ店オープン



横浜岡田屋モアーズ



川崎岡田屋モアーズ



横須賀モアーズシティ



相模大野モアーズ



bモアーズ



横浜岡田屋モアーズ



HISTORY 沿革

- 1890 初代岡田宗直が川崎警察署長退官後、当市堀之内に於て質屋を開業（明治23年11月23日）、後に呉服部を設ける
- 1910 二代目岡田宗直家業を継承し、岡田屋呉服店を創設（明治43年10月）
- 1945 戦災による店舗消失のため一時営業を中止（昭和20年4月）
- 1946 川崎市駅前本町7番地の現在地に於て営業再開（昭和21年9月）
- 1947 株式会社岡田屋呉服店に組織変更（昭和22年5月）
- 1951 株式会社岡田屋に商号変更（昭和26年6月）
- 1955 岡田屋本館鉄筋4階建て新築第1期工事完成（昭和30年12月）
- 1963 岡田屋本館を増築完成。冷暖房、エレベーター、エスカレーター等諸設備完備の近代的百貨店として飛躍（昭和38年5月）
- 1966 横浜駅西口に一大ショッピングコンビナート形成のため、横浜おかだや開店を通産省に申請（昭和41年11月）
- 1967 株式会社横浜岡田屋設立（昭和42年6月）横浜駅西口に着工（昭和42年6月）
- 1968 横浜おかだや開店（昭和43年11月）
- 1972 ハワイ店開店（昭和47年8月）、1999年にかけて17店舗展開
- 1973 ロサンゼルス店開店（昭和48年1月）、2000年にかけて9店舗展開
グアム店開店（昭和48年1月）、1999年にかけて7店舗展開
香港店開店（昭和48年8月）、1997年にかけて3店舗展開
- 1974 サンフランシスコ店開店（昭和49年7月）、1999年にかけて3店舗展開
- 1978 川崎岡田屋モアーズ新築着工（昭和53年5月）
- 1979 バンクーバー店開店（昭和54年11月）、1982年にかけて2店舗展開
- 1980 川崎岡田屋モアーズ開店（昭和55年5月）
- 1982 サイパン店開店（昭和57年8月）、1997年にかけて5店舗展開
横浜岡田屋モアーズ新築開店（昭和57年11月）
- 1985 横須賀岡田屋モアーズ出店を発表（昭和60年11月）
創業九十五周年記念式典実施（昭和60年11月）
- 1988 ニューヨーク店開店（昭和63年3月）、1990年にかけて2店舗展開
川崎岡田屋モアーズ全館リフレッシュオープン（昭和63年4月）
オーストラリア店開店（昭和63年11月）、1995年にかけて8店舗展開
- 1989 YES'89横浜博覧会開催、出店（平成元年3月～10月）
川崎岡田屋モアーズに世界最短エスカレーター・プッチカレーター設置（平成元年10月）
（1990年度版ギネスブックに掲載）
創業百周年前年（白寿）大懇親会開催（平成元年11月）
- 1990 創業百周年記念式典開催（平成2年11月）
創業百周年記念イベント横浜アリーナで開催（平成2年11月）
- 1991 相模大野岡田屋モアーズ建築着工（平成3年3月）
- 1992 ぶちモアーズ5中央林間店開店（平成4年3月）
相模大野岡田屋モアーズ開店（平成4年9月）
- 1993 横浜岡田屋モアーズ、リシャインオープン（平成5年2月）
- 1995 横須賀モアーズシティ地鎮祭挙行、建築着工（平成7年7月）
- 1996 横浜岡田屋モアーズ、リフレッシュオープン（平成8年3月）
- 1997 ラスベガス店開店（平成9年3月）、2000年にかけて3店舗展開
横須賀モアーズシティ開店（平成9年10月）
- 2000 横浜岡田屋モアーズ、リフレッシュオープン（平成12年3月～11月）
創業百周年記念式典実施（平成12年11月）
- 2004 ラスベガス店を除き海外店舗撤退（平成16年2月）
川崎岡田屋モアーズ、リフレッシュオープン（平成16年10月）
- 2007 株式会社横浜岡田屋と株式会社岡田屋を合併し、株式会社横浜岡田屋として組織統合（平成19年3月）
みなとみらい21、クイーンズタワーに本部移転（平成19年3月）
- 2008 bモアーズ、オープン（平成20年4月）
横浜岡田屋モアーズ、リニューアルオープン（平成20年10月）
- 2010 ラスベガス店閉店、日本の国際化とともに海外店展開もその役割を終了（平成22年1月）

PROFILE

会社概要

会社名	○	株式会社 横浜岡田屋
本社	○	横浜市西区南幸1丁目3番1
本部	○	横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC棟11階
創業	○	明治23年11月23日
設立	○	昭和42年6月16日
決算日	○	5月末日
資本金	○	1億円
年商	○	316億6,200万円(平成25年度)
事業内容	○	ショッピングセンターの企画運営 プロパティマネージメント事業 外商事業 ビルメンテナンス事業 インターネット通信販売事業
店舗	○	川崎MORE' S/横浜MORE' S/横須賀MORE' S CITY 相模大野MORE' S/中央林間MORE' S/b MORE' S 他
役員	○	取締役社長(代表取締役) 岡田 伸浩 常務取締役 山崎 利幸 常務取締役 山城 泰介 取締役 千 玄室 取締役 鵜池 昭吾 取締役 岡崎 和美 取締役 岡田 衛 取締役 岡田 房子 上席執行役員 三橋 一夫 執行役員 齋藤 隆夫 執行役員 長本 孝友紀 執行役員 服部 真次 監査役 窪川 秀一

プロパティマネージメント事業

- ◆ショッピングセンター企画・マーケティング
- ◆ショッピングセンター建築コンサルティング
- ◆テナントリーシング
- ◆ショッピングセンター運営・マネージメント
- ◆ショッピングセンター関連商事事業

ビルメンテナンス事業

- ◆清掃事業
- ◆設備管理業務
- ◆内外装および設備工事
- ◆環境衛生管理

外商事業

- ◆官公庁に対する商品の販売
- ◆企業等のお客様に対する商品の販売
- ◆防災備蓄品、非常食、資機材の販売
- ◆インターネット通信販売事業